

御前崎市教育振興基本計画



目 次

I	計画の策定について	1
1	計画の趣旨	1
2	計画の期間	1
3	計画の対象	1
II	「スクラム御前崎」の基本構想	1
1	「スクラム御前崎」の教育基本目標	1
2	「スクラム御前崎」が目指す子どもの姿	1
3	「スクラム御前崎」の基本方針	2
4	「スクラム御前崎」の3つの柱	3
III	計画の策定に際して勘案した事項	5
1	本市教育の現状と課題	5
2	計画に際して勘案した事項	1 3
IV	「スクラム御前崎」の重点施策	別紙
V	「スクラム御前崎」の構想図	別紙

御前崎市教育振興基本計画

I 計画の策定について

1 計画の趣旨

御前崎市では、市の将来像「子どもたちの夢と希望があふれるまち御前崎」をまちづくりの目標とし、平成28年度から第2次御前崎市総合計画がスタートします。

御前崎市教育委員会では、「まちづくりは人づくりから」の考えに基づき、平成27年度から、「郷土を愛し、未来をつくる市民の育成」を教育の基本目標に掲げ、スクラムプランで推進する御前崎の教育を展開してきました。

そこで、第2次御前崎市総合計画に掲げられた将来像に向かい、今後ともこれまで取り組んできた「郷土を愛し、未来をつくる市民の育成」への取り組みを進化発展させることにより、様々な教育活動を通じた「御前崎の人づくり」名付けて「スクラム御前崎」を進めていきます。

2 計画の期間

計画の期間は、第2次御前崎市総合計画に合わせ、平成28年度から平成37年度(10年間)とし、今後10年間で取り組む計画として策定します。ただし、年度ごとに見直しを図ります。

3 計画の対象

認定こども園、幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校を中心として、子どもたちを取り巻く家庭、地域社会、これらを支える行政を含めた教育に関わる取組を対象とします。

II 「スクラム御前崎」の基本構想

1 「スクラム御前崎」の教育基本目標

郷土を愛し、未来を創る人づくり

2 「スクラム御前崎」が目指す子どもの姿

郷土を愛し、未来を創る子

グローバル化や情報化をはじめとする社会の急激な変化とともに、少子高齢化、人口流出や地震津波災害への不安、エネルギー問題、長引く経済低迷など、今日的な社会の課題が、教育へも大きな影響を及ぼしています。

このような21世紀型の社会の課題と御前崎市の子どもたちの現状をとらえ、目指す子どもたちの将来像を「郷土を愛し、未来を創る子」としました。

これまで求められてきた確かな学力、健やかな体、豊かな心を基盤とした「生きる力」の深化を図るとともに、「社会の変化に柔軟に対応し、多くの他者と様々な関わりを広げ、より豊かな自己の人生とよりよい社会を切り拓いていく力」を持った子どもたちを育てることが求められます。

そのために、下記のように、将来像に向かうために目指す子どもの姿を4つの具体的な姿で押さえました。

1 高い志や夢を持って生きる子

高い志や夢を持って、問題解決に主体的・意欲的に向かう力を持つ子を育てます。

2 学び続ける子

自己の人格を磨き、豊かな人生を送るため、生涯問い続け、学び続ける力を持つ子を育てます。

3 他者と豊かにかかわる子

多くの他者と様々な関わり、豊かな人間関係を築くことができる力を持つ子を育てます。

4 社会とかかわっていく子

社会や世界に関心を持ち、関わりながらより良い社会を創りだそうとする力を持つ子を育てます。

3 「スクラム御前崎」の基本方針

キーワードは「スクラム」

「スクラム御前崎」の目指す子どもの資質・能力は、多様な社会だからこそ、園や学校が広く社会と協働して育成することが、最も大切であると考えます。

そのため、次のように、2つの基本方針で御前崎の人づくりを進めます。

【基本方針1】

園、学校、家庭、地域、行政がスクラムを組み、社会全体で協働して人づくりを進めます。

【基本方針2】

生涯にわたって学び続け、互いに高め合うことのできる人づくりを進めます。

そのために、子どもたちを支える園・学校・保護者・地域・行政の目指す姿を示します。

○目指す園・学校の姿

- ・子どもとともにつくる活気あふれる園・学校
- ・地域の人、もの、ことを生かす園・学校
- ・子ども、保護者、地域に信頼される園・学校

○目指す教職員の姿

- ・子どもへの愛情と情熱を持ち続ける教職員
- ・子どもへの自己の指導のあり方を見つめ、学び続ける教職員
- ・スクラム・スクール・プランに自ら積極的に取り組む教職員

○目指す家庭の姿

- ・子どもに深い愛情を注ぎ、子育てに責任を持つ家庭
- ・子どもの基本的な生活習慣・学習習慣を身につけさせる家庭
- ・笑顔と対話のある家庭

○目指す地域の姿

- ・あいさつと声かけと笑顔があふれる地域
- ・世代を越えて交流する地域
- ・安全安心な地域

○目指す行政の姿

- ・スクラムプランを積極的に推進し、園・学校・家庭・地域のリーダーとなる行政
- ・常にPDCAサイクルで施策を実施し、市民のために前進する行政

4 「スクラム御前崎」の3つの柱

(1) スクラムで推進する御前崎の教育

子どもたち一人一人が、「社会の変化に柔軟に対応し、多くの他者と様々な関わりを広げ、より豊かな自己の人生とよりよい社会を切り拓いていく力」を持つためには、園、学校、家庭、地域、行政がそれぞれの役割を理解し、責任を果たすとともに、それぞれがつながり合いながら社会全体で協働して子どもの育成に当たることが求められています。未来の町を担う子どもたちが社会的・職業的に自立した人間に育つためには、子どもたちにどんな力をつけ、どのように育てていくかを社会全体で考えていくことが大切です。

「家庭での育ち」「園・学校での育ち」「地域・社会での育ち」をつなぐために、「スクラムスクール運営協議会（御前崎型コミュニティスクール）」等を通して、園・学校・家庭・地域・行政がスクラムを組み、地域ぐるみで青少年の育成を図ることに取り組んでいきます。

(2) スクラム・スクール・プランで推進する子どもの育成

少子化や核家族化の進行、地域コミュニティの希薄化等により、対人関係に悩む子どもたちが増えています。また、小1プロブレム、中1ギャップと

言われるように、新しい環境での学習や生活への不適応が、不登校等の生徒指導上の諸問題につながる事態も少なくありません。

未来の御前崎市を担う子どもたちが、社会的・職業的に自立した人間に育つためには、社会全体で子どもたちを育てるとともに、園、小学校、中学校、高校が、「子どもたちの学びと育ち」を途切れないようにする必要があります。校種により、子どもたちの発達段階は異なりますが、「御前崎市の子どもたちの将来の姿」を描き、園、小学校、中学校、高校がそれぞれの果たす役割を認識することが大切です。

そのために、園、小学校、中学校、高校の教職員がスクラム・スクール・プラン（注1）を通して、これからの社会を生き抜くための資質・能力の育成（注2）を目指し、子ども観や教育観の共有を図っていきます。

*注1 スクラム・スクール・プラン＝園、小学校、中学校、高校を「1つの学校」ととらえ、「とぎれない教育」の実現を目指すための方策

*注2 これからの社会を生き抜くための資質・能力＝基礎基本の知識・技能、思考力・創造力、主体的に人や社会とかかわる力

（3）スクラムで推進する生涯学習

「社会の変化に柔軟に対応し、多くの他者と様々な関わりを広げ、より豊かな自己の人生とよりよい社会を切り拓いていく力」は、子どものみならず、市民の方々にも求められます。「まちづくりは人づくりから」の考えのもと、子どもから大人まで「郷土を愛し、未来を創る人」になり、みんなによりよい社会を築き、市民みんなが幸せになることが大切です。

そのために、誰でもいつでもどこでも学べる生涯学習を推進し、市民みんなが生涯にわたって学び続け、互いに高め合うことのできる人づくりを進めます。文化団体との連携による文化芸術の振興、地区公民館主催の活動を通しての地域コミュニティや生涯学習、体育協会・スポーツ推進委員と連携して行う各種スポーツ大会による健康増進のスポーツ振興に取り組みます。

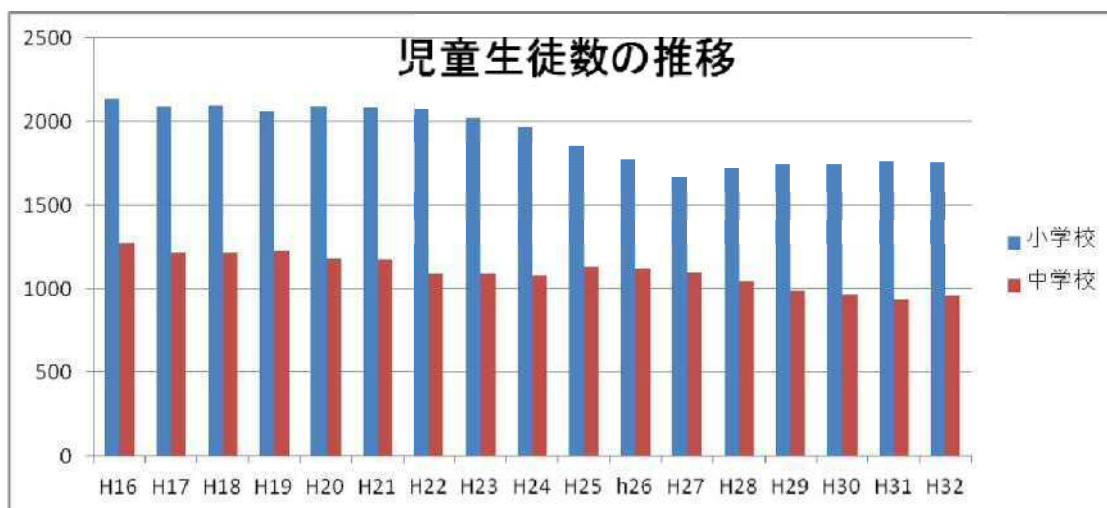
さらに、郷土の宝である文化財やアカウミガメの保護と市民への啓蒙活動により、郷土への誇りと愛着を育みます。また、生涯学習の拠点となる図書館アスパルは、「市民と共に考え、共に歩む地域に根ざした図書館」を目指して、市民の参加と協働による図書館活動を行います。

Ⅲ 計画の策定に際して勘案した事項

1 本市教育の現状と課題

(1) 児童生徒数の推移

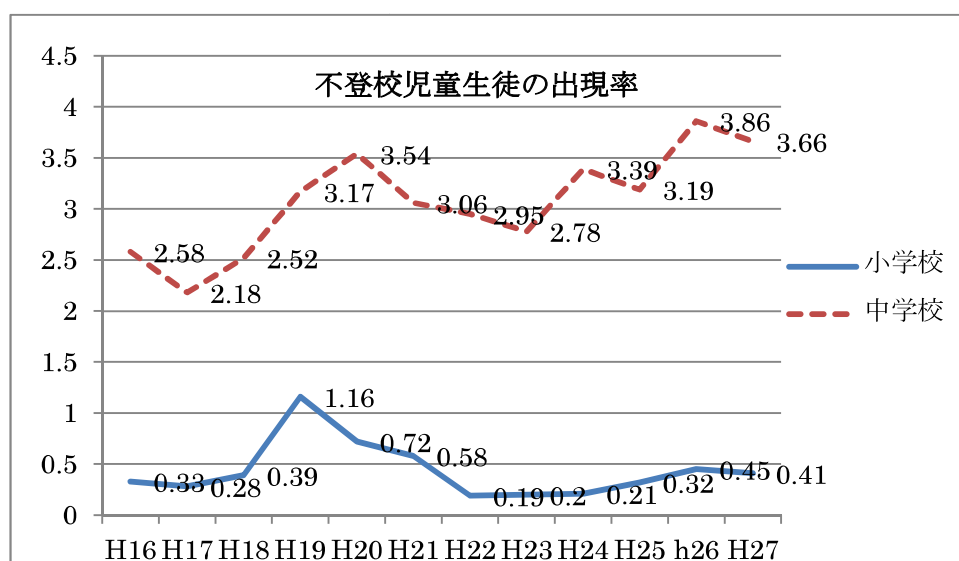
児童生徒数は、全国と同様に減少傾向に有り、合併当時より小学校で22%、中学校で14%減少しています。5年後の平成32年には、さらに、中学校で合併当時より25%減少するとみられています。少子化の加速や核家族化の加速から、家庭環境の問題やコミュニティ不足の影響等を考えていくことが求められます。



(2) 困り感を感じている児童生徒の状況

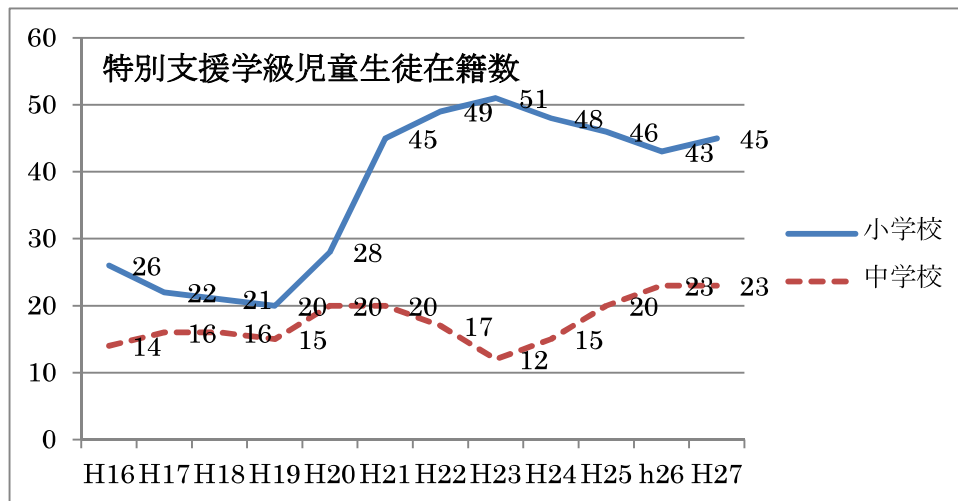
① 不登校児童生徒数の推移

不登校児童生徒は、児童生徒数が減少しているにもかかわらず、増加していて、深刻な状況です。特に、中学校の不登校出現率は、大きな課題です。家庭教育の問題、貧困化家庭、核家族、発達障害による不適応、人間関係の希薄等、様々な問題が児童生徒の背景にあります。



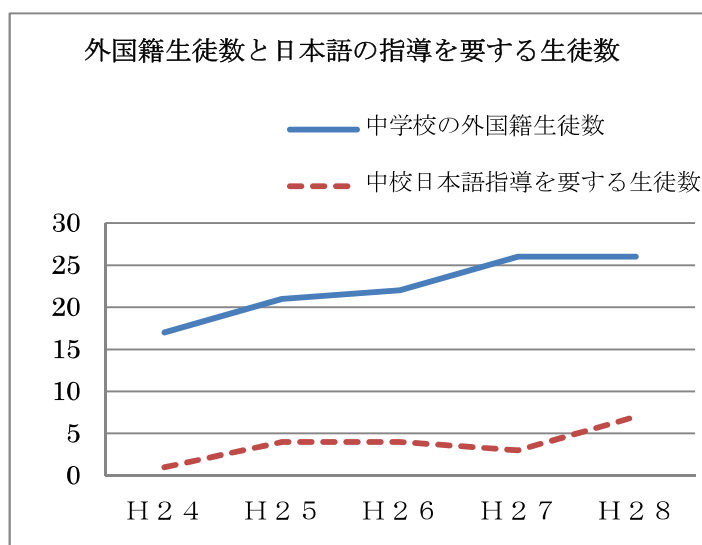
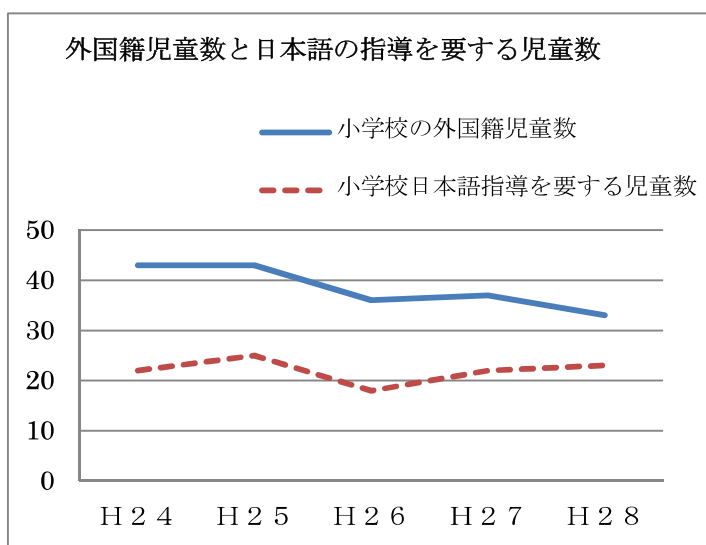
② 特別支援学級在籍数の推移

特別支援学級の在籍数も、合併当時より、小学校で1.7倍に、中学校で1.6倍に増加しています。これは、各関係機関との連携により、保護者への就学支援が充実した結果だと思われます。その子どもに応じた教育ができることは、社会人として成長したときに大きな影響を及ぼします。しかし、一方で、発達障害で困り感を感じている児童生徒が、ますます増加していることも課題です。特に、愛着障害、人間関係の希薄化等が、障害に大きな影響を及ぼしていることも否めません。それに伴い、その子に応じた指導には、教職員の特別支援に対する理解を深めると共に、たくさんの方がかかわる必要があります。



③ 外国籍児童生徒数の推移

外国籍児童生徒の在籍数は、全体的には、小学校では減少傾向にあるものの、中学校では、若干増加しています。小学校は、在籍数は減っているものの、日本語指導を要する児童は、増加傾向にあり、ブラジル籍よりフィリピン籍が増加しています。中学校は、在籍数も日本語を要する生徒数も若干増加しつつあり、中学校の学習に困難をきたすことが予想されます。また、日本国籍であっても、母親が外国籍である児童生徒も、全体の2.7%で約80人弱在籍しています。この傾向は今後減ることはなく、言語や文化の違う子どもたちが、自国の文化や言語を大切にしつつ、日本語での学習を習得していくために、一人一人に応じた指導体制をします。



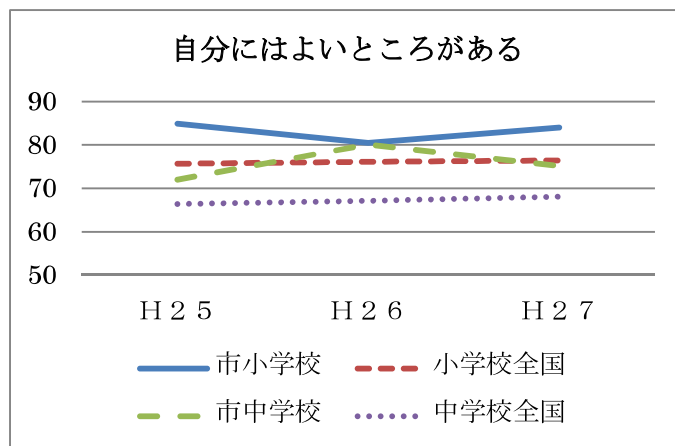
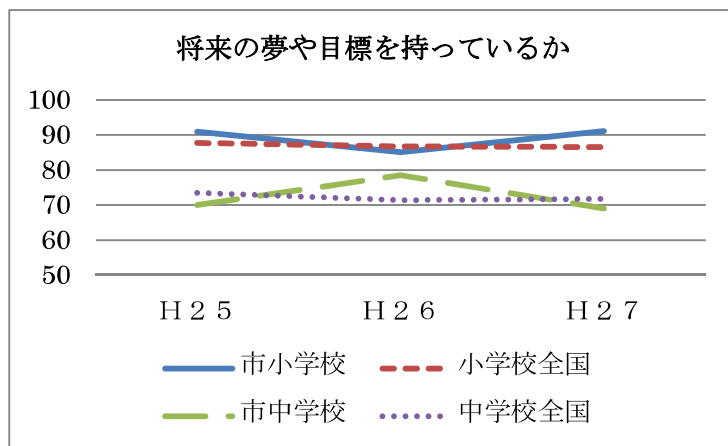
④ 母子父子家庭について

少子化、核家族化も加速していますが、母子父子家庭も増加傾向にあります。27年度には、小中学校児童生徒在籍数の11.2%の児童生徒が母子父子家庭です。小学校では、9.8%、中学校では、13.4%です。年齢が上がるにつれ、母子父子家庭が増え、経済的だけでなく、精神的に負担が大きくなる保護者の方への支援が必要な場合があります。

子どもたちが家庭で安定して生活するために、小さな変化も見逃さない配慮が指導者に求められます。

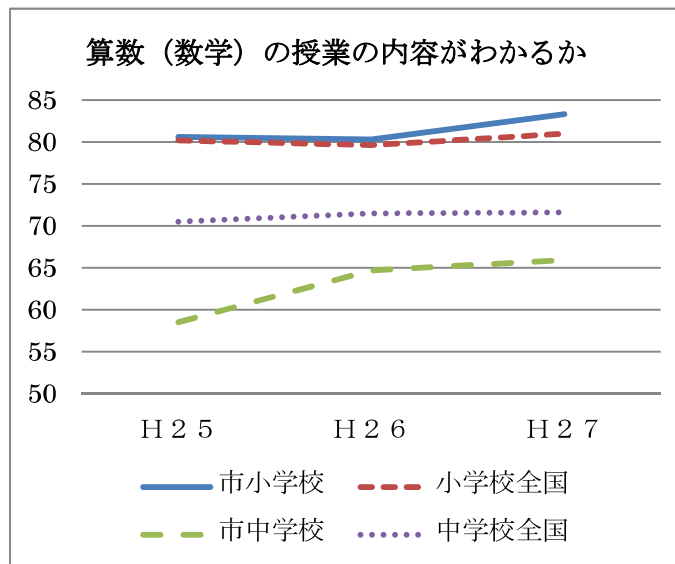
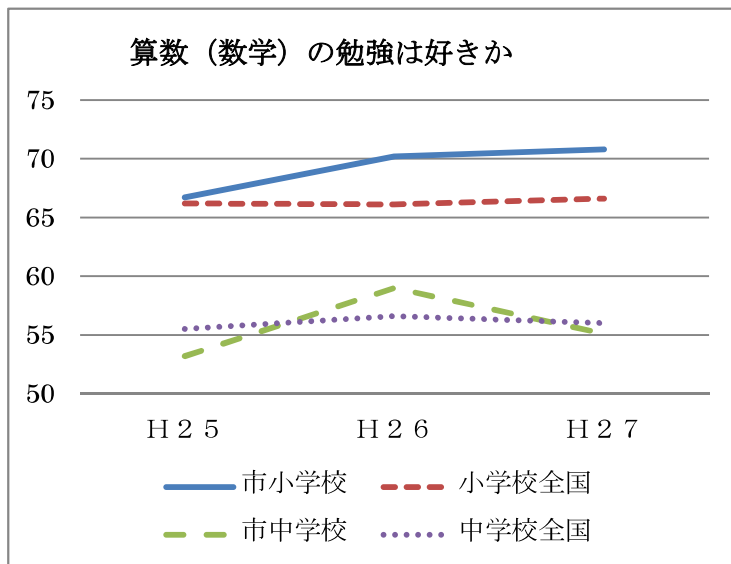
(3) 児童生徒の学習・生活・体について

① 小・中学生の学習状況



全国学力・学習状況調査から御前崎市の小中学生は、調査対象児童生徒の違いはあるものの、総じて、「将来の夢や希望を持っている」「自分にはよいところがある」と答えています。全国と比べてもほぼ同じです。特に、小・中学生とも全国に比べて「自分にはよいところがある」と答えている子どもたちが多いです。

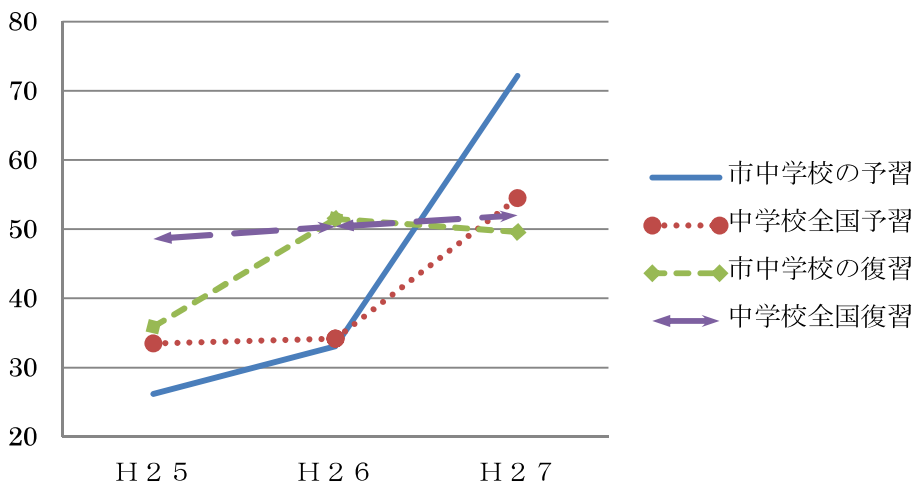
ただ、全国的にも言えることだが、中学生になると、自信を失い、将来の夢や希望を持つ子が減ってくることは、考えるべきことであると思います。最も多感な時期こそ将来への夢や希望を持ち続けることが学習への意欲や取組にも影響するであろうと思われ、キャリア教育や自分の生き方を見つめる教育を計画的に進める必要があります。



大きな課題は、全国的にも同じことが言えるものの、数学の勉強に苦手意識を持つ中学生が小学生に比べ、大きく増えることです。特に御前崎市の中学生は、上記の質問調査から、数学の学習理解に困難を感じていることがわかります。中学生になると、全国と比べて大きな差が生まれることは、学校での授業内容、家庭学習のやり方、基本的な生活習慣と定着のための学習習慣、小学校での習得状況など、さまざまな要因を考えていかなければなりません。

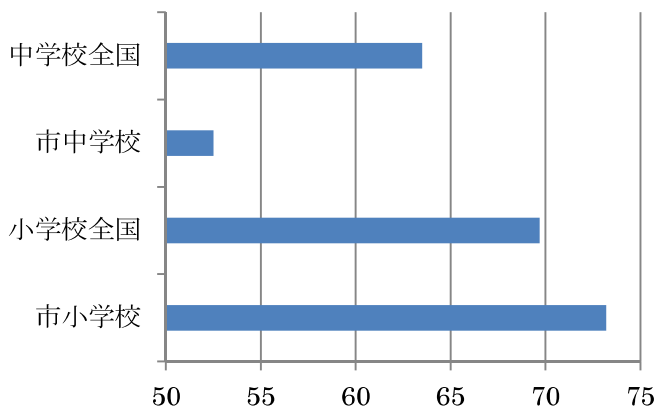
将来の夢や希望を中学生になっても持ち続け、自分の志や夢に向かって意欲的に取り組む子を育てることが大切です。

中学生 家で授業の予習・復習をしているか

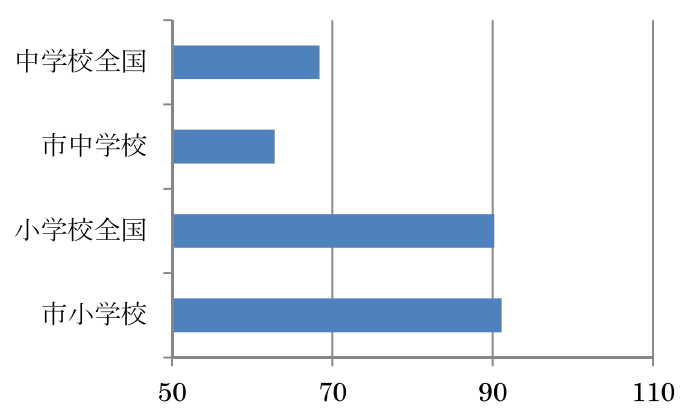


家での家庭学習については、小・中学校とも宿題の他に、自主的な学習を取り入れているため、以前より授業の予習や復習をする児童生徒が少しずつ増えています。

27年度普段1日あたりのゲームをする時間
(2時間未満の人の割合)



27年度普段1日あたりの携帯、スマホの通話やメールをする時間
(2時間未満の人の割合)



しかし、一方で、平日にテレビゲームや携帯ゲームなどをする時間が多い中学生が、小学生や全国に比べて多いことが課題です。さらに、スマホや携帯でのメールやインターネットをする時間が多い中学生が、小学生や中学生に比べて多いことも、大きな課題です。そこからネットでの問題が起きています。

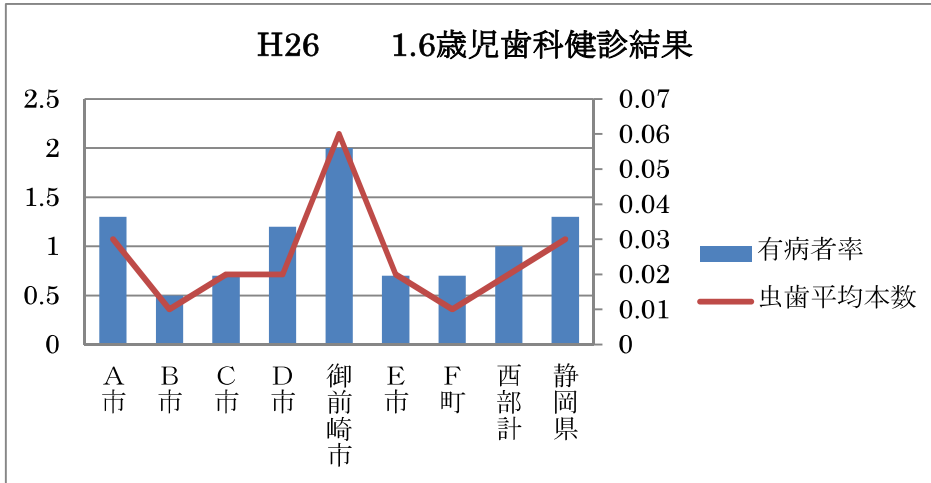
子どもたちが、目標を持って、生涯学び続けるためには、園、小・中学校、高校が、スクラム・スクール・プランを通して、校種を越えて、こうした実態を教職員が話し合い、授業改善、家庭への働きかけ、子どもへの指導等を考えていく体制に取り組んでいきます。

② 小・中学生の生活状況

御前崎市の小・中学生は、「朝食を毎日食べてくる」「毎日同じくらいの時刻に起きる」「毎日同じくらいの時刻に寝る」という質問については、全国平均より比較的良い結果が出ています。

また、新体力テストの結果から、ほとんどの項目で全国より良い結果が出ています。

しかし、平成 26 年度の歯科健診結果を見ると、以前よりは良くなっていると言われるが、乳児からの食生活や歯磨き習慣に対する家庭の意識を高める必要があります。

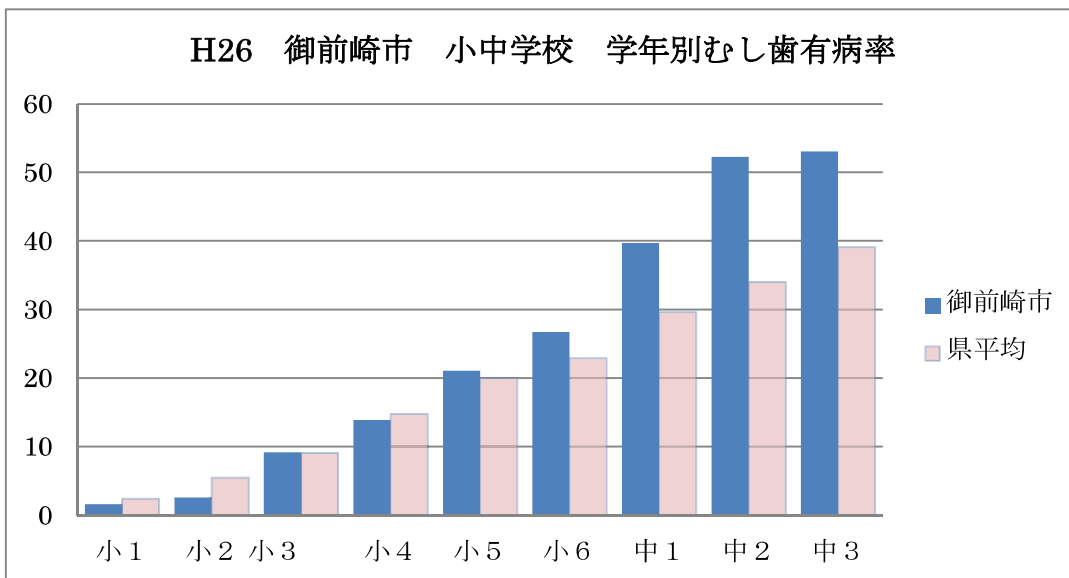
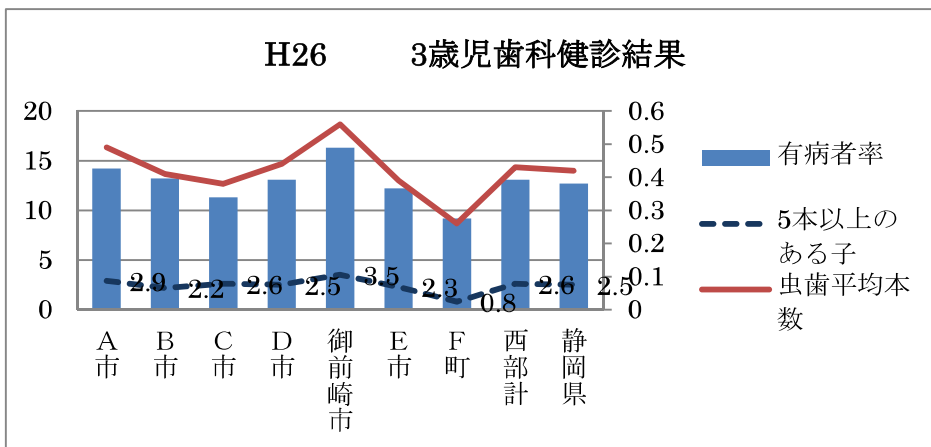


1.6歳児の歯科健診の結果を見ると、すでに、乳歯が虫歯になっている乳児の割合は、近隣の市町に比べ高いです。

さらに、3歳児においても、乳歯が虫歯になっている幼児の割合が高く、虫歯の平均本数、5

本以上ある幼児の割合も近隣市町に比べ高いです。

乳児からのよい食生活や歯磨き習慣を身につけることが求められます。



こうした乳児の実態は、小・中学校の学年別むし歯有病者率の結果にも表れています。小学校5年生から、むし歯の有病率は、県の平均よりかなり高くなっています。基本的な生活習慣は、学習習慣にも影響するため、家庭の協力を得たり子どもたちが自分の体について考える学習をさらに深めていくことが必要です。

子どもたちのよりよい成長のために、園・学校では、多面的に子どもの実態をとらえた指導をするとともに、保護者への働きかけを行います。

また、平成26年より行っている御前崎市の運動器健診についても、平成28年度からは、文科省の指導により、全国の小・中学校での実施となりました。市内の小学校では、すでに予防運動を取り入れています。今後、家庭の協力を求めていきます。

③ 小・中学生の全国体力テストについて

小学校 5年男	握力 (kg)	上体起 こし (回)	長座体 前屈 (センチ)	反復 横跳 び(回)	20mシ ャトル ラン (回)	50m 走 (秒)	立ち幅 跳び (m)	ボール 投げ (m)
市小5	17.51	20.34	33.43	44.13	60.78	8.98	151.56	22.55
全国	16.45	19.58	33.05	41.60	51.64	9.37	151.27	22.51

小学校 5年女	握力 (kg)	上体起 こし (回)	長座体 前屈 (センチ)	反復 横跳 び(回)	20mシ ャトル ラン (回)	50m 走 (秒)	立ち幅 跳び (m)	ボール 投げ (m)
市小5	17.21	20.11	38.30	41.62	48.92	9.18	153.13	14.16
全国	16.05	18.41	37.45	39.56	40.70	9.62	144.80	13.76

中学校 2年男	握力 (kg)	上体起 こし (回)	長座体 前屈 (センチ)	反復 横跳 び(回)	持久走 (秒)	50m 走 (秒)	立ち幅 跳び (m)	ボール 投げ (m)
市中2	31.07	27.30	46.25	53.66	393.23	7.86	207.53	21.92
全国	28.91	27.35	43.04	51.63	393.42	8.01	194.11	20.61

中学校 2年女	握力 (kg)	上体起 こし (回)	長座体 前屈 (センチ)	反復 横跳 び(回)	持久走 (秒)	50m 走 (秒)	立ち幅 跳び (m)	ボール 投げ (m)
市中2	24.11	22.41	47.63	45.45	296.93	8.85	175.91	12.63
全国	23.65	23.18	45.55	46.10	290.60	8.84	167.23	12.77

平成 27 年度小学校 5 年生と中学校 2 年生の全員を対象に実施した全国体力調査結果を見ると、小学校 5 年生は、男女とも全国平均を上回っています。静岡県全体は、男子の握力、上体起こし、長座体前屈、ボール投げが全国を下回っているものの、御前崎市の 5 年生は、男女とも、全国平均を上回りました。

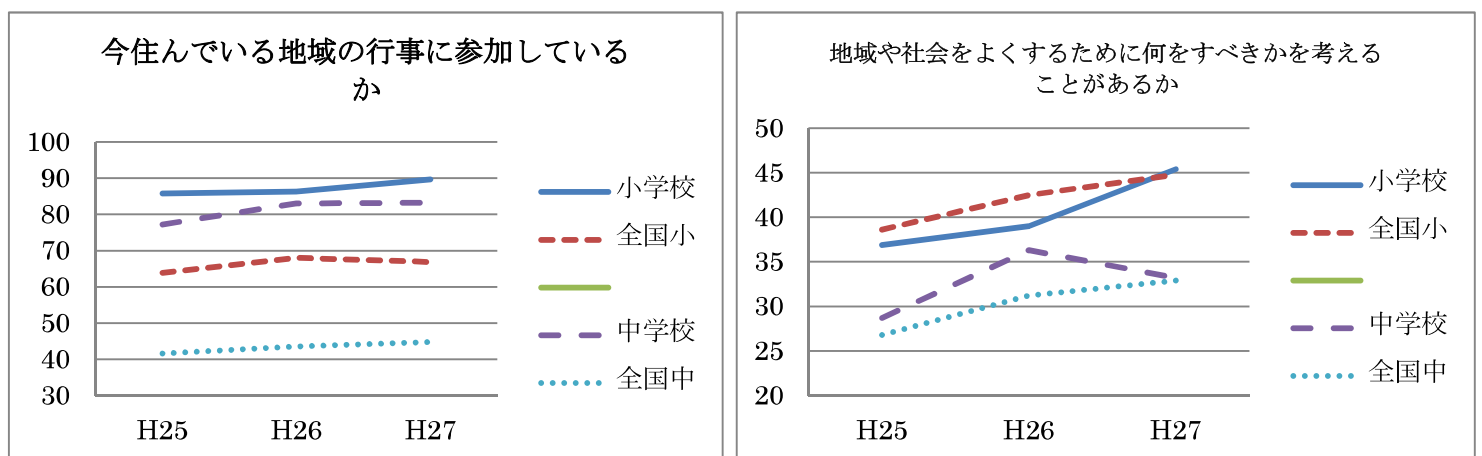
しかし、中学校の 2 年生においては、特に、女子が、全国平均より下回る種目が目立ちます。数学の学習状況と同様に、学校を中心に中学校における生活の状況を考えていきます。

(4) 地域とのかかわりについて

子どもたちは、小学校におけるサポート隊や公民館等の地域行事等で、地域の方々に大きく支えられています。家族や園・学校の先生たち以外の多くの人たちとのかかわっていくことが求められています。

全国学力・学習状況調査の質問項目の「今住んでいる地域の行事に参加しているか」では、御前崎市の子どもたちは、地域の行事によく参加していると言えます。また、「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがあるか」では、中学生があると答えている生徒が多いです。平成 27 年度のスクラムグッドマナーのテーマを「あいさつでつくろう地域と共に」と中学生が考え、市内の小中学校・園で運動を進めるものになりました。

今後も地域に支えてもらうような体制をしていきます。



2 計画に際して勘案した事項

以上のことから、次の点を勘案して作成しました。

- ① 乳幼児から社会に出るまでの教育に一貫性をもたせること
- ② 多くの人とかかわり、人間関係を大切にすることをすること
- ③ 多くの人や地域の力を借りて、御前崎の子どもは御前崎のみんなで子どもを育てる気概を持つこと
- ④ 地域とつながる体験や活動を重視し、御前崎に誇りと愛着を感じる人を育てること
- ⑤ 家庭、園・学校、地域、行政の役割を責任を持って果たすこと

そして、まちづくりも人づくりも、みんなが夢を感じられるようにすることが大切であると考えます。

IV 「スクラム御前崎」の重点施策（別紙）

V 「スクラム御前崎」の構想図（別紙）

【方針1】

園・学校・家庭・地域・行政がスクラムを組み、社会全体で協働して人づくりを進めます。

高い志や夢を持って生きる子

郷土を愛し、未来を創る人づくり
郷土を愛し、未来を創る子

学び続ける子

他者と豊かにかかわる子

社会とかがわっていき子

【方針2】

生涯にわたって学び続け、互いに高め合うことのできる人づくりを進めます。

御前崎の人づくり

スクラム御前崎

スクラムで推進する御前崎の教育

スクラムを組んで取り組む園・学校・家庭・地域・行政

1 スクラムスクール運営協議会(コミュニケーションスクール)の推進

- ・中学校区ごとにスクラムスクール運営協議会
- ・園や学校の教育活動への地域支援本部事業の拡充
- ・シニアスクールの拡充と発展
- ・子どもが提案する子ども議会を開催
- ・親学講座の開催

2 地域と共に取り組む防災教育の推進

- ・園・学校合同の避難訓練の実施
- ・地域と共に考える避難訓練の実施
- ・原力防災教育を含む防災教育・エネルギー教育の力
- ・リキラムづくりと計画的な実施(小中学校)

3 地域の協力で取り組む小・中学校のキャリア教育

- ・小学校低学年から中学校までのキャリア教育のカリキラムづくりと計画的な実施
- ・保護者・地域や地元企業の協力を得て行うキャリア教育

地域ぐるみで取り組む青少年健全育成

1 地域で育む青少年健全育成

- ・地区青少年健全育成会議、青少年サポーター隊、子ども110番、青少年補導員、声かけ運動の推進
- ・青少年の活躍の場とする青少年の未来をつむぐ会

2 青少年の体験活動の推進

- ・小中学校異年齢集団の体験活動の実施
- ・地域で取り組む青少年体験活動

3 家庭教育につながる支援体制の確立

- ・子育ての相談や学びの支援となる家庭教育支援員の配置
- ・各機関が連携する家庭教育支援の場の提供

4 御前崎型スクラムグッドマナーの推進

- ・小中学生から市民全体に広げる御前崎型スクラムグッドマナー運動の推進

スクラム・スクール・プランで推進する子どもの育成

乳幼児教育

生きていく力の基礎の育成

1 「夢中で遊び込む子」の育成

- ・スクラムスクールプランで取り組む保育士・教諭の資質能力の向上
- ・小学校の学びにつなげる自発的な遊びや体験の重視
- ・自発的な遊びを誘発する環境構成の工夫
- ・各地域の特性を生かし、地域の人・物・ことに触れる活動の推進

2 家庭と共に歩む子どもの育成

- ・早寝・早起き・朝ご飯の生活習慣を身につけるための家庭への積極的な働きかけ
- ・地域子育て支援センターでの親教育や育児支援
- ・親子で考える避難訓練の実施

3 乳幼児期における個性伸長教育の推進

- ・各関係機関と連携する早期からの発達支援の充実
- ・各関係機関と連携しての保護者の悩みを気軽に相談できる教育相談の充実
- ・個性伸長教育の研修会で高める教諭員の資質の向上

学校教育

これからの社会を生き抜くための資質・能力の育成

基礎基本の知識・技能 思考力・創造力 主体的に人・社会とかがわる力

1 これからの時代に必要なる資質・能力の育成

- ・園・小中学校・高校のスクラムスクールプランで取り組む教職員・教員能力の向上
- ・育成すべき資質・能力を旨とした授業の構築
- ・学校全体が組織的にカリキュラムマネジメントを進める教育課程の充実
- ・国際社会に対応する英語教育の推進
- ・地域や社会とつながる授業や体験活動の授業の構築
- ・ICT機器を効果的に生かした授業の構築
- ・図書館 学校図書と取り組む読書活動の推進

2 心と体づくりの推進

- ・子どもたちが楽しく進めるスクラクルグッドマナー運動
- ・自己を見つめ、人との関わり方を考える人間関係プログラム学習の推進
- ・運動器検診を元にした心と体づくりと生活習慣
- ・家庭と共に考える情報機器の正しい使い方

3 個にきめ細やかに対応する教育環境の体制づくり

- ・しおかせ先生の導入によるきめ細やかな学習支援体制
- ・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー・巡回相談員・各関係機関を生かした学校全体の組織で取り組む不登校対策、いじめ問題対策、発達支援、家庭支援
- ・サンルーム(御前崎市適応指導教室)の充実

教育環境・学校給食

充実した教育環境

1 安全・安心で、これからの時代に必要なる教育環境の整備

- ・安全・安心な園・学校施設の整備と管理
- ・防災対策と防犯対策の整備
- ・浜岡中学校の建て替えと御前崎小学校のプール移転
- ・浜岡保育園の民営化
- ・トイレの洋式化と特別教室の空調設備の推進
- ・情報化社会に見合ったICT機器の整備

子どもの心と体を支える園・学校給食

1 食育指導と地産地消の推進

- ・教科と関連させる食育指導と家庭への食育指導の推進
- ・地産地消の推進
- ・「生きた教材」となる給食内容の充実
- ・食物アレルギー食への的確な対応

2 安全・安心な給食の提供

- ・給食センターの統合
- ・衛生管理と安全管理の徹底
- ・給食費未納防止対策

スクラムで推進する生涯学習だれでもいつでもどこでも学べる生涯学習の充実

誰でも参加し、楽しく学ぶ生涯学習の推進

- ・だれでも参加できる公民館活動と社会教育
- ・学校の推進と情報発信
- ・御前崎公民館の移設
- ・これからの時代に即した公民館のあり方への諮問
- ・社会教育施設の維持管理

文化財・芸術文化の継承と推進

- ・文化財の管理、継承と市民への積極的な発信
- ・小中学校、地域への積極的な出前授業
- ・アカウミガメの保護と環境教育の推進
- ・各文化団体と連携した文化芸術に触れる機会の提供

市民と共に考え共に高め合う図書館づくり

- ・市民と協働してつくる文化事業、展示等の展開と御前崎市の特徴を生かした事業の展開
- ・子どもの読書活動の推進
- ・市民のニーズに即した快適で魅力ある図書館づくり

心身共に健康な市民を目指すスポーツの振興

- ・体育協会、スポーツ推進委員、スポーツ委員と連携して行う各種大会の開催
- ・御前崎の海を生かしたマリンスポーツの振興と普及
- ・各運動施設の安全な管理

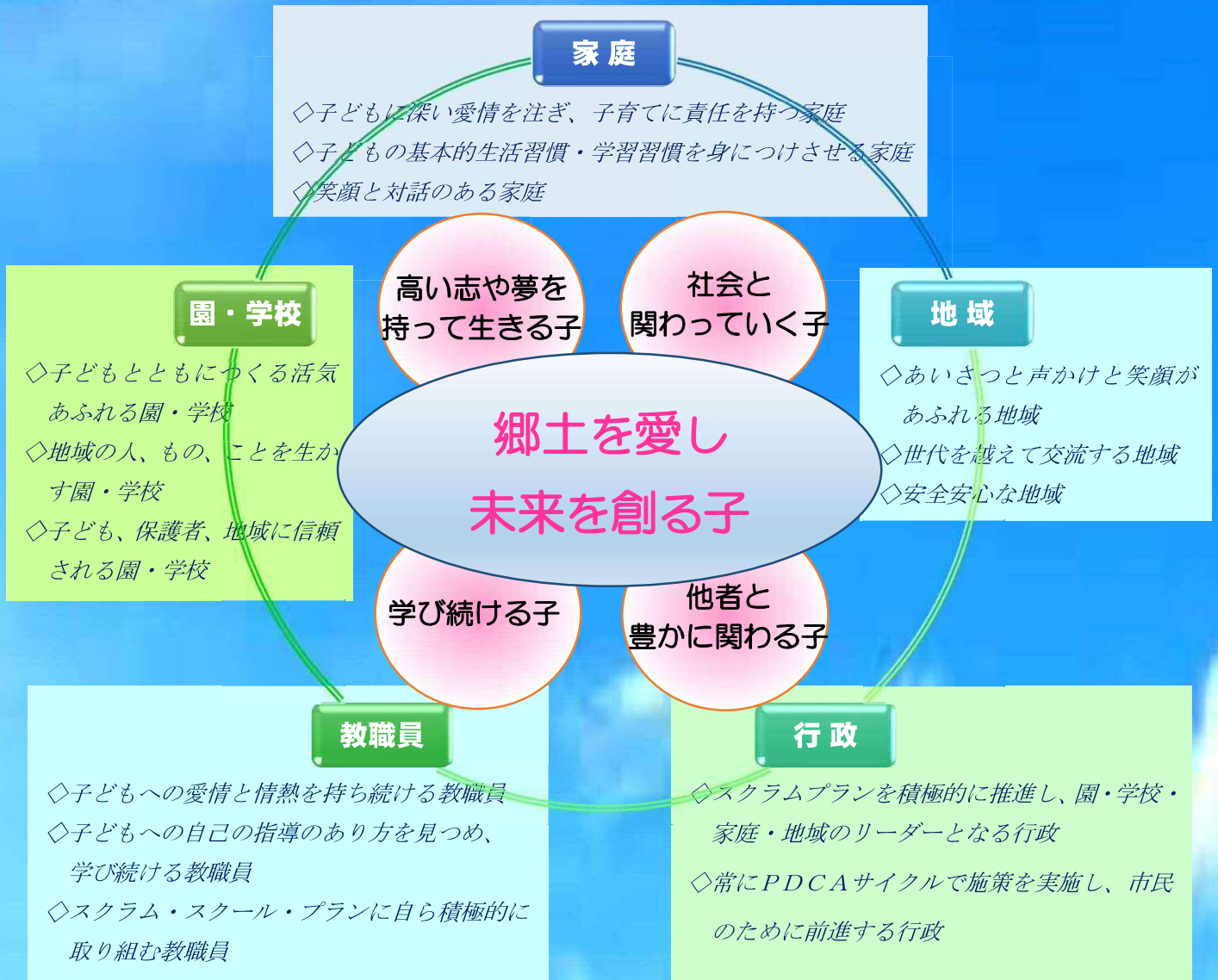
スクラム御前崎

【基本方針1】

園・学校・家庭・地域・行政がスクラムを組み、社会全体で協働して人づくりをすすめます。

【基本方針2】

生涯にわたって学び続け、互いに高め合うことのできる人づくりを進めます。



スクラムで推進する 御前崎の教育

- ・スクラムを組んで取り組む園・学校・家庭・地域・行政（スクラムスクール運営協議会）
- ・地域ぐるみで取り組む青少年健全育成

（御前崎型グッドマナー
家庭、地域と共に育む青少年）

スクラム・スクール・プランで 推進する子どもの育成

- ・生きていく力の基礎の育成(園)
- ・これからの社会を生き抜くための資質・能力の育成(学校)

基礎基本の 知識・技能	思考力・ 創造力	主体的に人・ 社会と関わる力
----------------	-------------	-------------------

- ・充実した教育環境
- ・子どもの心と体を支える魅力ある園・学校給食

スクラムで推進する生涯学習

だれでもいつでもどこでも学べる生涯学習の充実

- ・誰でも参加し、楽しく学ぶ生涯学習の推進
- ・文化財・芸術文化の継承と推進
- ・市民と共に考え、共に高め合う図書館
- ・心身共に健康な市民を目指すスポーツの振興